

平成28年度第1回東濃看護専門学校運営協議会議事録

日 時 平成28年7月6日(水)午後2時
場 所 東濃看護専門学校2階会議室

次第

開会

学校長あいさつ

会議成立の確認。8名の出席で会議の成立を確認。

委員改選により会長の選出。全会一致により小島土岐市副市長を選出。

1 会長あいさつ

小島会長あいさつ。

副会長の指名

小島会長より佐藤多治見市副市長を指名。

2 議事

会長が議事進行。

(1) 平成27年度東濃看護専門学校事業特別会計決算(案)について

事務長：(資料に基づき説明。)

意見なく、承認

3 その他

(1) 平成29年度学生募集要項について

事務長：（資料に基づき変更点等説明。）

委員：（推薦入学試験※注2について）

愛知県の学校で推薦指定校を増やすのは、優秀な学生がほしいというのは分かるが、（圏域内への）定着率の関係は大丈夫か？ 土岐市・多治見市からも推薦の出願は出てくると思うが、（圏域外の学生を）成績だけで判断して推薦を受け入れて、地元で働いてもらえるのか？

事務長：推薦試験の面接の際に、必ず定着してもらえることを確認している。

委員：（圏域内学生の）推薦の枠が必要ではないか？ 圏域外の学生ばかり推薦で受け入れても。せっかく定着率が上がってきているので、下がることのないように。

副学校長：今回の推薦指定校の増枠は、愛知県に4校ある准看護師養成所に趣旨を説明して、2校から承諾を頂いた。2校とも学生には愛知県外でも将来的に看護師として羽ばたいてもらいたいとのこと。また当校としても、圏域外からの学生が入学し、実習等を通して圏域内の病院の良さを理解し、卒業後、圏域内に就職して定着してもらえればありがたい。

委員：昨年の説明では、学校指定をせずに、推薦を希望する学生がいる学校は申し出て下さいという枠を広げた形になっていたと思うが、今年度は指定校からの推薦しか受け付けないということに変更になったのか？

副学校長：変更はない。昨年度と同様、指定校以外からの推薦があれば推薦枠の中で検討させていただく。

(2) 平成28年度学生の状況及び平成27年度卒業生の状況について

事務長：（資料に基づき説明。）

委員：就職先の内訳についてであるが、卒業後に圏域内に就職した学生のそれ以降についてはどうか？ どのくらいの卒業生が同じ病院に勤務し続けているか承知しているか？

事務長：承知はしていない。

学校長：想像ではあるが、男性看護師はおそらく定着していると思う。女性看護師は結婚等の理由により勤務先を替えていることも考えられる。

委員：今後の参考とするためにも追跡調査を実施してもらいたい。また奨学金の関係で、償還期間（修学資金返還免除のための貸付を受けた期間に相当する期間）を過ぎてもまだ勤務を続けてもらえているのか？ 圏域内の定着率だけでも確認を。

その他

平成28年度第1回東濃看護専門学校懇談会の概要を事務局長が報告。

4 閉会